緩和ケア推進に関するワーキンググループについて(案)

【趣旨】

平成24年6月に閣議決定された新たな「がん対策推進基本計画」において、「がんと診断された時から身体的・精神心理的・社会的苦痛などに対して適切に緩和ケアを受け、こうした苦痛が緩和されること」が目標として掲げられている。

がん患者・家族への緩和ケアの提供に関する現状・課題を踏まえ、今後の緩和ケア推進について、俯瞰的かつ戦略的・具体的な対策等を検討し、今後の施策等に反映していくため、平成24年4月、厚生労働省健康局長の下に「緩和ケア推進検討会」(以下、検討会)が設置され、計12回の議論を経て、平成24年9月には「緩和ケア推進検討会中間とりまとめ」が、平成25年8月には「緩和ケア推進検討会第二次中間とりまとめ」が検討されている。また、検討会におけるこれまでの議論やそれを受けた具体的施策が医療現場でどのように進められているかを把握し、残された課題を抽出することを目的として、検討会の下、本ワーキンググループを設置する。

本ワーキンググループでは、がん診療連携拠点病院における緩和ケア提供体制の現状を把握し、緩和ケア推進に関する課題を整理する。

「緩和ケア推進に関するワーキンググループ」構成員

池永 昌之 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 副院長
金井 良晃 国立大学法人東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部
副部長
木澤 義之 国立大学法人神戸大学大学院医学研究科内科系講座
先端緩和医療学分野 特命教授
富安 志郎 長崎市立市民病院麻酔科 診療部長
橋爪 隆弘 はしづめクリニック 院長
波多江伸子 福岡がん患者団体ネットワークがん・バツテン・元気隊 代表

服部 政治 公益財団法人がん研究会有明病院麻酔科(ペインクリニック)
副部長
林 和彦 東京女子医科大学化学療法・緩和ケア科 診療部長・教授
前川 育 特定非営利活動法人周南いのちを考える会 代表
山本 亮 JA長野厚生連佐久総合病院緩和ケア科 部長
横川史穂子 長野市民病院緩和ケア・がん相談支援センター 看護主任
渡邊 真理 神奈川県立がんセンター 副院長兼看護局長

(五十音順・敬称略)

<u>スケジュール</u>	2013年9月～	実地調査
	2014年1～2月	実地調査結果のとりまとめ
	2014年2～3月	実地調査結果を検討会へ報告、課題を抽出するための議論